

こうち男女共同参画センター「ソーレ」情報紙

ソーレ・スコープ

自分らしい生き方、応援します!

第84号
2018.APR.

Take Free



イラスト:ヒビノケイコさん(4コママンガエッセイスト)

ソーレまつり2018

記念講演会 「シングルファーザーの子育て日記」

多様な性を認め合う「高知家」に!

暮らしにひとさじエッセンス 「一枚の写真でこれからの人生が変わる!？」

詳しい情報は
こちらから

高知 ソーレ 検索

HP <http://www.sole-kochi.or.jp>



HP



Facebook

ソーレまつり2018

ソーレでつなぐ未来へのきずな ～踏み出そう新しい一歩～

1月27日(土)・28日(日) 9:30～16:00

ソーレの開館月である1月に毎年開催している恒例のソーレまつりは、今年で19回目を迎えました。
1月27日(土)、28日(日)の2日間、ソーレ全館で、57団体・グループが参加し、講座や体験教室、ワークショップ、コンサートなどさまざまな催しが行われました。
たくさんの方にご来場いただき、本当にありがとうございました。



記念講演会

シングルファーザーの 子育て日記

結婚して長女が生まれ、その2年後には次女が生まれました。私と妻、娘が2人という状況になり、私も子育てを手伝いました。そして何となく仕事をしながら、家事や子育てを手伝いながらやってきましたが、結婚して15年目に離婚しました。

それからは家事や子育てを自分ですべてやるしかない状況になり、すごく要領が悪いこともあって毎日へとへとなりました。そんな日々の中で、心の底から叫びたくなるときもありました。一人でやることの大変さと、俳優という仕事をしているせいで妻が出て行ったことも言えず、今思えば半分ノイローゼ気味だったかもしれません。

また、離婚を決めたのは娘が中学3年生と1年生で、まさに思春期の真っ直中で一番多感なときでした。父親にとって、思春期の娘ほど分からないものはなく、全くしゃべらないという時期が続いて、同じ家に居るのに姿が見えなくなってしまい、1日の会話が「ああ」と「ごちそうさま」の二言だけということもありました。

その中で、子育てに関して心がけてきたことが、①自分から話す、②抱きしめる、③よくほめる、④たまには料理を作って食べさせる、⑤子どもに感謝するの「男の子育て五箇条」です。

そして、「いつも笑顔でいよう」と決めました。



俳優 宮川 一朗太

1966年、東京都生まれ。1983年に映画「家族ゲーム」で主演デビュー。日本アカデミー賞優秀新人賞を受賞。映画、テレビ、舞台のほか、洋画の吹き替えやナレーションなど声優としても活躍。ドラマ「半沢直樹」での好演も話題を呼んだ。

自分がまいた種ですが、シングルファーザーなりのつらさがありました。しかし、つらいときにこそ笑顔でいれば全体がいい流れになるのではないかと思います。1人でつらかった時も笑顔で乗り越えてきました。仕事が全然なかった時代もありましたが、笑顔で心がけていたら何となく周りの運氣もよくなって、仕事も増えるようになりました。

子育ては、身近な男女共同参画ではないかと思っています。その子育てを通しての教訓は、「本当につらいときこそ笑顔で乗り切ろう」ということです。

私はシングルになってしまいましたが、できれば離婚はしないほうがいいです。家事や子育てを2人で力を合わせて頑張ってください。でも、もし残念ながら1人になっちゃったよという私と同じような方がいらっしゃいましたら、ともに頑張って乗り越えていきましょう。



大盛況のバザー



作品展示



親子料理教室



コンサート



クイズラリー



ワークショップ



人権啓発マスコットキャラクター「ここのさん」



フラダンス



ジャズフェス



来年2019年にソーレは開館20周年を迎えます。



多様な性を認め 合う「高知家」に！

通称サワチ(SA和CHI)

ソーシャルアライ・コナツハットの居場所づくり

ソーシャルアライ・コナツハット 共同代表 長澤 紀美子 (高知県立大学社会福祉学部教授)

なくそう！「SOGIハラ」

「SOGIハラ」とは、「SO(sexual orientation=性的指向)GI(gender identity=性自認)に関して差別的な言動や嫌がらせを受けること」を指します。2017年3月に性的マイノリティの支援団体から作られたLGBT法連合会が、現実起こっている差別の実態を広く社会に知ってもらおうと広めています。最近では、NHK Eテレ「ハートネットTV」でも「SOGIハラ」が特集され、視聴者の書き込みから、多様な性のありようを持つ人々が職場・学校・家庭でいまだに偏見や差別に苦しむ経験をしていることがわかります。フジテレビのお笑い番組で昨年9月に放映された「保毛尾田保毛男」のキャラクターは、同性愛者に対する差別的表現がいまだに使われていることを示し、当事者・支援団体から、人権問題として強く抗議を受けています。

一方で、報道で聞かない日はないほど、私たちの社会で性的マイノリティの問題は「可視化」しつつあります。最近放映されているドラマには、同性愛者やトランスジェンダーの日常を自然に描くものもあり、「オネエ系」や「キラキラ系」タレントー

辺倒ではなく、性的マイノリティの中にも多様性があり、隣人として私たちの身近にいる生活者であることも描かれるようになりました。

昨年1年間だけでも、国内外

で、人権問題として教育、就労、婚姻や家庭生活の場において平等な権利を保障しようという動きが高まっています。国内では、国家公務員のための人事院規則でSOGIハラを禁止(1月)、「いじめ防止等のための基本的な方針」に性的マイノリティの児童生徒に対するいじめ防止策の対応を明記(3月)、経団連が性的指向・性自認に基づく差別・ハラスメントの禁止を社内規定に明記する等の取組みを奨励(5月)、日本学術会議で性的マイノリティの婚姻・教育・労働に関する包括的な権利保障を提言(9月)など、いじめや差別を禁止するための環境づくりが進んでいます。国外に目を向ければ、アジアで初めて台湾で同性婚禁止が違憲判決(5月)、ドイツで同性婚を含めたすべての人の婚姻の合法化(10月)、オーストラリアで同性婚をめぐる国民投票の結果「賛成多数」(11月)など、性的指向にかかわらず、愛する人との婚姻を法的に保障されることは国際的な潮流となっています。

県内での取り組み

高知県では、NPO法人高知ヘルプデスクが当事者支援の活動を長く続けており、2014年度には日本初の同性間DVシェルターも設置しました。近年は教育関係者、行政や労働組合等の人権研修に当事者や支援団体の講師が招かれ、性的マイノリティについて学ぶ機会も増えています。しかし参加者から、「自分の身近にはいない(いなかった)」「(教員・保健医療福祉職などが)支援したいが、どうしてあげたらよいかかわからない」などの声が聞かれることがあります。電通ダイバーシティ・ラボの「LGBT調査2015」によれば、性的マイノリティに該当する人は7.6%、おおよそ13人に1人と言われることから、「いない」のではなく、「見えない」問題であること、そのためには「見ようとする」(関心を持つ、知識を持つ)努力が社会の一員として私たちに求められます。

私たちの団体「ソーシャルアライ・コナツハット(以下、サワチ)」は、2016年8月に「わたしがわたしであ



定例会でのディスカッションの様子

るために「多様な性のありよう(SOGI)を認め合う仲間」を理念として、大学生および教員、保健医療福祉職、支援団体の3者が協働して設立しました。理念の中にあるSOGIとは、「人々はそれぞれ異なる性的指向と性自認を持っており、互いにそれを尊重していくこと」を大切に考える考え方です。「女らしさ」「男らしさ」などのジェンダー規範にとらわれない、多様な性を認め合える社会こそが、誰にとっても「自分らしく」生きられる社会であると考えています。

サワチの主な活動は、高知県立大学永国寺キャンパスでの月1回程度の定例会(学習会やディスカッション)、研修講師(行政、教育関係者、医療福祉専門職等)、啓発イベントの開催などです。2017年3月には、キックオフイベント(映画上映とシンポジウム)、2017年度は「ソーレえいど事業」の助成金により「教育関係者のためのSOGIアカデミー」第1回(鳴門教育大学院・葛西真記子教授による講演とシンポジウム)を9月に、第2回(多様な性を認めあう学校づくりに関する学習会)を2月に開催しました。

〈お問い合わせ先〉 Email sawachi.sogi@gmail.com

Facebook 「social ally コナツハットsawachi」

Twitter 「@sawachi2016」

当事者・非当事者を線引きしない

活動の基本は定例会です。あらかじめ守秘義務を確認した上で、セクシュアリティについてテーマを決めて話し合っています。定例会の場は、「みんな誰かのアライ(支援者・仲間)」として、互いの性のありようを自然に受け入れ、自分らしい生き方を肯定される心地よい安全・安心な居場所であるようにしたいと考えています。

活動の特徴は、大学生など若い世代がメンバーに多いことです。団体のロゴやステッカー、リーフレットは学生が若者らしい感性を生かして作成し、イベントの企画や運営にも協力しています。

昨年末に、心と体の性が一致しない障害の診断名である「性同一性障害(GID)」の性別適合手術に公的医療保険が2018年度から適用されることになりました。望む性で生きるために高額な費用負担が問題であった手術に保険が適用されることは、手術を希望する人にとって朗報です。しかし、わたしがわたしであることを自他共に受容されるためには、医療だけで解決できる問題ではなく、多様な性を認め合う社会づくりが不可欠となります。

サワチとして、これからも高知県でSOGIを広げていく息の長い、地域に根差した地道な取り組みを進めていき、行政・教育・医療福祉関係者等とのネットワークにより、県内での居場所やキーパーソンを広げ、多様性を認め合う「高知家」の一翼を担っていきたいと考えています。



SOGIアカデミー(9月23日)



婚姻時に夫の姓を選択する夫婦の割合 96%

厚生労働省 平成28年度 人口動態統計特殊報告「婚姻に関する統計」より

夫婦同姓

民法は、「夫婦は、婚姻の際に定めるところに従い、夫又は妻の氏を称する(750条)」と規定し、夫婦は同一の姓を称するものとしています。このため、婚姻届を出す際には、夫又は妻のいずれかの姓を選択することが求められ、夫婦が別々の姓を称することは認められていません。

明治民法では、婚姻によって妻は夫の「家」に入り、その結果として妻は「家」の呼称である夫の姓を称するものとされていました。

現行民法では、憲法の「個人の尊厳、両性の本質的平等」の理念に基づいて、婚姻の際に夫と妻のどちらかの姓を自由に選ぶことができるようになっていますが、平成27年でも96%が夫の姓を選んでいました。

●改姓による問題

結婚によって子どもの頃からの姓を変えることで、自分のアイデンティティの喪失感を感じる人は多くいます。また、銀行口座や免許証などの氏名すべてを変えるなどの面倒な手続きが必要となります。

そのような不利益・不都合を受けているのは、ほとんどが改姓する女性です。女性は結婚すると仕事を辞めて家庭に入り、社会との関係性がなくなることが多かった社会状況のもとでは、改姓に伴う問題は、あまり顕在化しませんでした。しかし、女性の社会進出が進み、結婚後も仕事を継続する人が増加している中で、女性の改姓による不自由さは増しています。

●制度改正への動き

平成8年には法制審議会から結婚時に同姓とするか、別姓とするかを選ぶことのできる選択的夫婦別姓制度を含む「民法の一部を改正する法律案要綱」が答申されました。また、平成11年には「男女共同参画社会の実現」を提唱し、「社会における制度又は慣行が男女の社会における活動の選択に対して及ぼす影響をできる限り中立なものとするように配慮されなければならない」ことを基本理念の一つとして掲げた男女共同参画社会基本法が成立しました。夫婦の96%以上は妻が改姓しているという社会で、多くの女性が様々な場面で不利益・不都合を受けていることは、男女共同参画社会の形成の基本理念から憂慮されます。しかし、夫婦別姓を選択できる民法改正案は国会へ

の提出にさえ至っていません。

そして、平成27年には、夫婦同姓原則を定める民法750条の規定が憲法に違反するか否かが問われた「夫婦別姓訴訟」において、最高裁は規定を合憲とする判断を示しました。

●夫婦別姓

夫と妻のどちらの姓を選択するかは二人の協議に任されているにもかかわらず、96%が夫の姓を選択することは、意識的あるいは無意識のうちの女性が改姓するのが当然との考え方が、男性だけでなく、女性の中にも残っていることがうかがわれます。

女性からの夫婦別姓の主張は、自己の人格の象徴として、生来の姓を名乗り続けることに、妻や嫁としての役割ではない個人としての生き方を尊重し、対等な夫婦関係を築きたいとの願いが込められたものです。

平成29年に内閣府が実施した「家族の法制に関する世論調査」の中で、選択的夫婦別姓制度の導入に対する考え方についての意識調査が行われました。同制度の導入に向けた民法の改正については、賛成の割合が42.5%で、反対の29.3%を上回り、前回調査(平成24年)の35.5%を超えて、これまでの内閣府の調査で賛成の割合が最も高い結果となりました。

社会状況が変化する中で、少しずつ意識の変化がみられ、夫婦が別の姓を名乗ることへの抵抗感が薄れ、別姓を受け入れる素地ができつつあるように思われます。



「カメラマン」と聞くと、男性を思い浮かべる人が多いかもしれません。

しかし、就活・婚活用のプロフィール写真、またウェディング・マタニティフォト、ドレスアップしたり着物を着ての記念写真など、最近では女性からの依頼が多いことから、頼みやすく共感を得やすい女性カメラマンへのニーズが高まっているようです。

お宮参りや七五三、入学・卒業式、成人式、結婚式など、さまざまな場面で記念写真を撮りますが、最近多くなったのは、婚活や就活のためのプロフィール写真です。人と人との最初の出会いとなるこうした写真は第一印象を大きく左右します。

普段の自分、ありのままの自分でありながら、好印象を持ってもらう写真の写り方のポイントをアドバイスします。

撮影前のチェック！

髪がはねていないか、襟元やネクタイが整っているか、メイクは大丈夫かななどをチェックします。

また、スマートフォンなどを見ることが多いかもしれませんが、頭が前に落ちた姿勢になる方が多いように感じます。

真正面を向いて、背筋を伸ばし、肩のラインを意識してください。

印象を左右する「目」と「口元」！

意識して「目」をしっかり開きましょう。目力を入れるのと、そうでないのでは印象が大きく変わります。

眼鏡をかけている方は、きれいに拭いてフレームの真ん中に目がくるように調整しましょう。

次に大事ななのは「口元」です。口角を上げることで表情が大きく変わります。歯を見せなくても明るい印象になります。

お気に入りの顔発見！

「写真は苦手」と思っている方が多い理由は、自分の写真写りに満足できていないからです。人それぞれ、顔の左右によってもかなり表情が違ってきます。普段から鏡を見ながら、表情の練習をして、自分の「お気に入りの顔」を見つけておくといいと思います。

これらのポイントに注意すれば、機械で自動的に撮影するボックス写真機でも、これまでとは違った印象の写真が撮れると思います。

カメラマンとして撮影するときは、本人にはわかりにくい顔の向きや、肩のラインなどをまず見極め、その方の一番いい表情が引き出せるように声掛けをしながら撮影をします。そして、新しい挑戦に向けてのプロフィール写真の撮影では、写真からその方らしさが伝わるのが「一番大切な」と考え、「この一枚の写真で人生が変わるかも」そんな思いで撮影しています。

手軽で便利なボックス写真機の利用とカメラマンに撮影してもらう写真をその時々で使い分けていただければいいと思います。



募集のご案内

ソーレえいど事業

県内の非営利団体・グループが男女共同参画推進のために実施する講座や講演会、調査研究等の費用を選考のうえ助成します。

対象団体と助成額

●対象は、県内を拠点として活動している非営利団体で政治・宗教を主たる目的としていない団体

●1団体20万円を上限に、対象経費の8割以内を助成

県民からの企画提案事業

男女共同参画推進のための講演会や講座等の事業を企画・実施する県内の団体や個人を募集します。

募集内容と委託料

●男女共同参画社会の実現に向けての取り組みや女性問題の解決を主たる目的とすることをテーマとした事業

●高知市で実施する事業 委託料10万円以内

●高知市以外で実施する事業 委託料15万円以内

募集期間 5月1日(火)～6月20日(水)17:00必着

事業実施期間 8月1日(水)～平成31年2月28日(木)

応募方法 必要書類の提出。募集要項は、ソーレ1階受付にてお渡しします。ホームページからダウンロード可。

※企画等についてお気軽にご相談ください。(採否を判断するものではありません)

※7月に選考会(プレゼンテーション)を行います。



無料託児付
(6ヵ月～就学前・予約制)



無料 参加費無料

男女共同参画推進月間講演会

「居場所」のない男、「時間」がない女 ～ワークライフアンバランスな社会を考える～

無料



「世界一孤独」と言われる日本の男性。家庭でも自分の「時間を持てない」日本の女性。

男女が住み分けている時間と空間に注目し、これから共に幸福に生きるために何が必要かを考えます。

日時 6月2日(土)13:30～15:30(13:00開場)

定員 150名(予約優先)

申込 受付中。電話またはホームページにて

講師 ^{みなした きりう} 水無田 気流 (詩人、社会学者、國學院大學経済学部教授)



女性防災プロジェクトメンバー募集



災害がおきたとき、活かす私のチカラ

防災を自分ごととしてとらえたい、防災活動へ積極的に参加したい女性を対象に、防災の知識や自分の強みについて学ぶ6回連続講座です。

日時 ①5月13日(日)10:00～16:00(午前中は公開講座)

②7月22日(日) 9:30～16:30

3回目以降は2ヵ月に1回程度開催予定。

講師 ①浅野幸子(減災と男女共同参画研修推進センター共同代表)

②板倉由美子(ギャラップ社認定ストレングスコーチ)

コディネーター 神原咲子(高知県立大学大学院看護学研究科准教授)

参加費 無料 (資料代1,600円が必要です)

対象定員 防災に関心のある女性20名(先着順)

申込 4月9日(月)9:00～電話またはホームページにて

※公開講座は、メンバー以外の方(男性も含む)も参加可能(無料)

女性のための健康講座

「ことば」による護心術



職場や家庭で嫌なことを言われたり、されたりしても、がまんしてモヤモヤすることはありませんか。自分の心を守るためのヒトを学び、明日への自信につなげます。

日時 5月20日(日)13:30～16:30

講師 橋本明子(リアライズYOKOHAMA代表・WEN-DOインストラクター)

参加費 500円

対象定員 女性30名(先着順)

申込 4月16日(月)9:00～電話またはホームページにて

子育て応援講座



ママとパパのための防災のおはなし

～災害が起きたとき、小さな命を守るために～

子どもたちを守るためには？そんな悩みを持つあなたに、避難のときにも役立つ知恵をお伝えします。負担の少ない抱っこする方法など毎日の生活で実践できるアイデア満載の講座です。

日時 6月23日(土)10:00～12:00

講師 園田正世(NPO法人だっことおんぶの研究所理事長)

参加費 1家族500円

対象定員 妊娠中の方から就学前のお子さんのいる保護者やその家族50組(先着順)

申込 6月1日(金)9:00～電話またはホームページにて

就労支援パソコン講座



① 3日で学ぶ！エクセル基礎講座

日時 5月26日(土)～28日(月)10:00～16:00(全3回)

講師 竹島由香(NPO法人とさはちきんねっと)

参加費 3,500円(テキスト代込)※初回にお支払いください。

対象定員 就職活動中または仕事をしている20代～50代の女性20名(先着順)

*マウス操作と文字入力ができる方

②エクセル検定対策講座

日時 6月16日(土)・23日(土)・30日(土)・7月7日(土)10:00～16:00(全4回)

講師 横山桂子(NPO法人とさはちきんねっと)

参加費 7,000円(テキスト代3,000円込)※初回にお支払いください。

対象定員 就職活動中または仕事をしている20代～50代の女性20名(先着順)

*エクセルの基本操作ができる方

③ 3日で学ぶ！ワード基礎講座

日時 7月21日(土)～23日(月)10:00～16:00(全3回)

講師 竹島由香(NPO法人とさはちきんねっと)

参加費 3,500円(テキスト代込)※初回にお支払いください。

対象定員 就職活動中または仕事をしている20代～50代の女性20名(先着順)

*マウス操作と文字入力ができる方

申込 ①5月7日(月) ②5月14日(月) ③6月22日(金)

10:00～電話にてNPO法人とさはちきんねっとまで

電話番号090-5712-2040 (受付時間:平日の10:00～17:00)

※①③は、ひとり親家庭等就業・自立支援センターとの共催。

ひとり親家庭の方は、電話番号088-875-2500にお申込みください。

●詳しくは、ホームページをご覧ください。●お申し込み・お問い合わせは、お電話でソレまで

TEL (088)873-9100

購読は無料!

ソレ・メールマガジン

「FROM ソレ」

講座情報を定期的にお届けします。
申込はホームページの登録画面から。
登録後届く確認メールのURLにアクセスして、
申込を完了してください。

こちらのQRコードで
登録画面に直接アクセス。



施設利用のご案内



●貸室利用時間

9:00～21:00(土・日・月曜日9:00～17:00)

●休館日

第2水曜日・祝日・(年末年始12月29日～1月3日)

●図書・情報資料室

9:00～20:00(土・日・月曜日9:00～17:00)

※ただし図書利用カード発行及び再発行の受付は、17:00まで

●相談室

9:00～12:00、13:00～17:00

(専用電話/088-873-9555)

※第2水曜日、祝日、12月29日～1月3日は休室です。

あなたの声をお聞かせください

紙面へのご感想、また主催
事業や施設利用等に関する、
あなたの声をお待ちします。

●電話: 088-873-9100
●Fax: 088-873-9292
●Eメール: sole@sole-kochi.or.jp
●ホームページ: <http://www.sole-kochi.or.jp>



●所在地 〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地

●アクセス 電車…「旭町3丁目」下車100m

バス…「旭町3丁目」下車50～200m

JR…「旭駅」下車400m

※駐車スペースが少ないため
公共交通機関をご利用のうえ、
ご来館ください。



発行 公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団

発行日 平成30年4月10日